



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報



ロータリー財団月間

第715回 平成13年11月 7日(水)

〔本日のプログラム〕

2001～2002年度 国際ロータリーのテーマ

1. 点 鐘
2. 国 歌 斉 唱
3. ローターソング
「我等の生業」
4. 「四つのテスト」 唱和
5. 食 事
6. 会 長 の 時 間
7. 幹 事 報 告
8. 委 員 会 報 告
9. 1 1 月 セ レ モ ニ ー
10. 点 鐘

理事・役員会

次 回 予 告

★11月14日(水)

夜間例会

会員卓話

梶田與之助君

★11月21日(水)

クラブ協議会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会 長	吉田康一郎
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	宮原 建樹
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17 ☎880-0212	幹 事	岩下 廣美
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会 計	垂水 敏雄
		会報委員	池田 仁志

第 7 1 4 回例会記録

(2001. 10. 31)

☆会長の時間

会長 吉田 康一郎 君

皆様今日は。本日は第714回の例会でございます。

今月の職業奉仕月間にちなみ、職業奉仕委員会委員長の正岡文郁君のお計らいで、ここ宮崎北消防署北部出張所へ職場訪問になりました。

本出張所には色々とお世話を成ると思いますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

今日は折しも先ほどサイレンが鳴り、スワ！火事になったのか？と吃驚致しましたが、たいした火事ではなかったとの由、ホッとしました。

消防署の職員の方々におかれましては常日頃からの火事等における消火活動を始め、一番我々が身近に感じる、救急車における救命活動等、そして水害、台風時他の救急活動、毎日大変ご苦労さまでございます。

自分の身の危険をおかしての活動等もあるかと思いますが、これからも十分気をつけられて活動して頂きますようお願い致しております。

本日はこの後、長友所長より、お話をお聞きし、日頃の活動の内容等を拝見させて頂くようになっておるようですのでよろしく願い致します。

会員の方々は滅多に無い、良い機会ですので、救急の方法等の実地訓練を時間の許す限り、勉強して頂くようお願い致します。

☆幹事報告

幹事 岩下 廣美 君

1. 例会変更通知

高鍋RCより、11月のプログラム予定表が来ております。

通常の例会で変更はありません。ご用の方は事務所へ聞いて下さい。

本日の職場訪問、当出張所の方々には貴重な時間をお借りしての勉強会です。

分からない所等は後程質問の時間もあると思いますので、遠慮なくお伺いし、良い時間を過ごしたいと思います。

☆出席報告

委員長 太田 忍 君

会 員 数	29名
例 会 出 席 者	22名
出 席 率	76%
メークアップ者数	2名
修正出席率	83%
欠 席 者 名	赤木、宮本、宮原、後藤、村岡

☆職業奉仕委員会

委員長 正岡 文郁 君

本日は宮崎市北消防署北部出張所の御厚意により、職場訪問を計画致しました所、月末でお忙しい中、多数の御出席をいただき誠に有り難うございます。

限られた時間ではありますが、ビデオでの消防署の紹介、救急事故等の応急手当法、心臓マッサージや人工呼吸法等の

実技講習、また、高規格救急車、消防車の見学、ホンダロック、松下電器の自衛消防団の訓練見学等を通じて、消防行政のあり方等、大いに学べることと思います。

24時間態勢の救急隊員の活躍等を思いその御労苦に感謝すると共に、お互いこれらの隊員の方々のお世話にならないよう自覚せねばならないと思います。

【職場訪問の内容】から

出火原因のワースト5

1. ガスコンロ（『天ぷら鍋』）
2. タバコ（寝タバコ）
3. 放火又は放火の疑い
4. 焚き火
5. ストープ

平成13年度統一標語

『たしかめて火を消してから
次のこと』

『火の用心七つのポイント』

1. 寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
2. 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
3. 風の強いときは、焚き火をしない。
4. 天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない。
5. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6. 風呂の空だきをしない。
7. ストープには、燃えやすいものを近づけない。

【119番】通報システム

宮崎市消防局では、平成11年3月より消防緊急システムを更新し、運用を開始しました。これまでのシステムとは違い119番通報が行われている場所が『瞬時』に画面表示される「発信地表示システム」や、災害地点を誘導する「カーナビシステム」、災害地点より最も近い消防隊や救急隊を出動させる「自動出動指令システム」、その他数多くの機能を持ち地域防災の頭脳部として災害に備えております。また、災害弱者情報機能も備え、出動消防隊に提供しております。是非、活用して下さい。

【救急蘇生法】

救急車が現場に到着するまでの平均時間は5～6分かかります。脳が心肺停止で生きていられる時間は3～4分です。生命を救えたとしても元の社会生活できるまで回復させるのは非常に困難となります。そうなる前に救急蘇生法を始めましょう。

1. 二次災害の防止

倒れている人の周囲（上下、左右）を確認して下記の①、②を考えます。

- ① なぜ倒れているか。
- ② 自分と倒れている人に二次的な危険はないか。
(危険であれば注意して倒れている人を安全な場所に移動します)

2. 観 察

全身の観察は次の順序で行います。

①大出血の有無

(直接圧迫止血法)

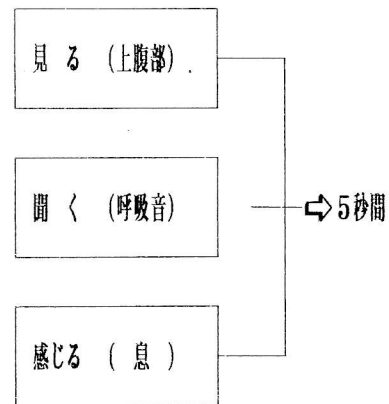
出血している部分に直接、清潔なハンカチ等を当て、その上から圧迫(押さえる)して止血する方法。

(止血帯法)

出血があれば巾(5cm程度)のある布等で締めて止血する(上、下肢)

②嘔吐の有無

嘔吐があれば顔を横に向け、ハンカチなどを指に巻いて掻き出します。(掻き出した後は、口の中を再度確認)



7. 口対口人工呼吸法

●マウスtoマウス(呼吸していない場合に行う)

(5秒に1回空気を入れる)

(小児は4秒に1回入れる)

(乳幼児は3秒に1回入れる)

- 鼻をつまむ
- 大きく開いた口で傷病者の口をおおう
- 目で胸の状態を見ながら「ハー」と息を吹き込む

3. 意識の確認

①傷病者の手を握りながら、初めは小声で次第に大声で呼びかけ顔と、手の反応を見ます。

(名前が分かれば名前で、分からなければ「もし、もし」でよびかける)

②周囲に助けを求める。

(大きな声で「誰か救急車を呼んで!」と助けを求める)

4. 口腔内の確認

●口腔内に異物があり、これが気道(空気の通り道)閉塞の原因になっていないかを確認するために行う。

5. 気道の確保

●気道(空気の通り道)を作り、呼吸がしやすくします。

(頭部後屈あごさき拳上法)

6. 呼吸の確認

●声を出して5秒間確認

目で胸や腹の動きを見ながら、耳で口や鼻からの空気の出入りを聞き、頬で感じます。

8. 脈の確認

●ソフトタッチで5秒間確認

確実に脈があるかないかを確認します。

9. 胸骨圧迫 心臓マッサージ

【成人】

【乳児】

剣状突起と肋骨の切れ目から一横指
上の胸骨上の部分が正しい圧迫場所

左右の乳頭を結ぶ線から一横指下が
圧迫場所

10. 一人で行うCPR

【成人】

心臓マッサージ(15回) 人工呼吸(2回)

【小児・乳幼児】

心臓マッサージ(5回) 人工呼吸(1回)

以下紙面の関係で省略致します。よく資料をお読み下さい。